

「都市計画道路」整備と今後の予定 平成17年度の主な道路工事

①市道「茨木鮎川線」の整備

JR茨木駅東口から五十鈴橋まで工事が完成し、供用を開始していますが、五十鈴橋から東部は府道富田〜目垣線と合流する重要な道路です。現在工事中で今年度中に完成を目指し工事を進めています。

②市道「北春日丘北線」の整備

北春日丘北部と茨木カントリークラブ間の道路で、北春日丘・美穂ヶ丘・豊川の市民がよく利用される道路です。西部と東部の整備が完了し、本年度中央部の整備を進めています。

③市道「茨木駅島線」の整備

阪急茨木駅から大阪府中央卸売市場を結ぶ道路で、今年度、真砂から十三高槻線までの間を9月に供用開始し、さらに水尾3丁目地内の150m区間を現在工事中で今年度中に完成予定です。並行する高瀬川の整備も町並みに配慮し、将来を考えた素晴らしい環境に整備をしていただくよう要望を続けてまいります。

④その他、野々宮南茨木線の桜通り交差点の開通により便利になりました。都市計画道路は、直接市民に影響し交通渋滞を解消するだけでなく経済の発展を大きく左右します。市民の皆様により良い生活を目指し、今後も整備されるよう要望して参ります。



西田猛衆議院議員
財務大臣政務官ご就任
おめでとうございます

自由民主大府第9
選挙区(茨木・箕面・池田・豊能)選出が平成十七年度に於いておこなわれ、十一月二日ご就任されました。今後引き続きお祈りをさせていただきます。

自由市民クラブ会派の報告

一、タイ・バンコク市視察(7月30日〜8月3日)

JICA(国際協力機構)へ、茨木市で研修を受けた研修生のその後の活動について視察しました。茨木市での研修の成果を世界中で今後も発揮されますことを願っています。また、HIV患者孤児院施設へ訪問視察に行きました。



タイ JICA視察



一、金沢市子育て支援について・白山市生涯学習について(11月10日〜11日)

金沢市は、24時間保育、民間協力により夜間保育等の取り組みや待機児童0など充実した子育て支援で先駆的な取り組みをされています。また、白山市では合併により広範囲の市になった為、現在ネットワークの活用の充実に取り組まれています。

一、安威川ダムについて西田猛衆議院議員と国土交通省河川局に調査・陳情(11月28日)東京

安威川ダムは大府事業として進めております。昨年8月大阪府が発表した事業の縮小に対し、地元茨木市としては安全安心な町を守る為に、当初計画通り行うのが当然であると国土交通省に調査・陳情に行きました。

小泉総裁の念頭所感

新年あけましておめでとうございます。
「改革なくして成長なし」。この方針をかがけて小泉内閣が誕生してから、五回目の新年を迎えました。
私は就任以来、わが国の再生と発展に向け、金融、税制、規制、歳出にわたる広範囲な構造改革を進めてまいりました。この結果、日本経済は、不良債権の処理目標を実現し、政府の財政出動に頼ることなく、民間主導の景気回復への道を歩み始めました。
昨年、衆議院総選挙において、国民の皆様より多くの信任をいただき、この民意を大きな支えとして、「改革の本丸」である郵政民営化法を成立させることができました。

改革の芽が様々な分野で大きな木に育ちつつある現在、改革を止めてはなりません。簡素で効率的な小さな政府の実現を目指し、構造改革を進めてまいります。

また、アセスメント問題や耐震構造設計偽装問題など、昨年は国民の皆様を不安にさせる問題が多く発生しました。不安を取り除き、安全で安心な生活環境を実現するために、総合的に対策を講じてまいります。

わが国の安全と繁栄のためには、世界の平和と安定が欠かせません。引き続き日米同盟と国際協力を外交の基本として、国際社会の責任ある一員として、山積する諸問題に取り組みしてまいります。

昨年、わが党は立党五十年を迎えました。この五十年間、数々の困難に直面しましたが、国民の信任を得て、平和のうちに政治、経済、文化の発展に尽力することができたことは、ひとえに国民多数のわが党に対するご支援の賜物です。この五十年の実績とこれからの改革意欲に期待する国民の創意と工夫をいかし、持てる力を発揮できるような環境を整えていくのが政治の役割であり、政権政党の使命だと思っております。

改革なくして明日はありません。国民の支持なくして改革は実行できません。今後とも信頼される自由民主党として新しい時代づくりに皆様とともに邁進したいと思います。一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

少子化と地域の輪

昨年12月16日午前の閣議で決定した、2005年版「少子化社会白書」の内容を皆さんはご存知でしょうか。

一人の女性が生む人数が1.29人になり、2007年と見積もっている人口減少社会が2006年にやってくるのではないかと、というものです。しかも、実際には2005年に死亡者が出生者を一人も上回ってしまいました。予想よりも二年も早く人口減少社会が来てしまったわけです。

このような少子化時代を改善するために政府は児童手当の支給対象年齢を拡大し、所得制限も緩和することなどでなんと少子化に歯止めをかけようとしています。しかしこれはすぐに効果がでるものではないでしょう。

私たちのような地域に根ざす人間は、国の大きな施策を期待しつつも、できることからこつこつと対策を練っていかなくてはなりません。

そこで考えられるのは、安心して子供を育てることのできる地域環境づくりです。

物騒な事件がいくつも起きているこの頃、個人情報保護法で個人の情報やプライバシーは守られるようになりつつありますが、個人情報保護法により名簿の廃止等により、同じ町内に住んでいる人の名前がわからない、連絡したくても連絡先がわからないなどといった問題が起きているのも事実です。法律だけで犯罪を起さないようにすることはできません。今以上に地域で交流を深め、お互いがお互いを知り、見知らぬ不審者に対して、ちゃんと声をかけることのできるそんな地域を増やしていければ、これに勝る安心はないでしょう。

そんな「地域の輪」を広げて、安心して暮らせる「安全な街、茨木」を私たちの力で是非、作り出しましょう！